



獨協大学外国語学部ドイツ語学科に合格なさったみなさん、おめでとうございます。これからドイツ語学科での旅は、無限の可能性に満ちています。今この瞬間から旅は始まっています。自分自身の夢と目標を探求し、その実現に向けて進んでください。私たちは、皆さんが輝かしい未来を築くために全力でサポートします。しかし、忘れないでください、この旅の主演はあくまでも皆さん自身です。積極的に学び、チャレンジし、大学生活を存分に楽しんでください！

## **Zwei Wege, ein Ziel! (二つの道、一つの目標！)**

みなさんの旅路にはプロジェクトコースとリベラルアーツコースという二つの道が用意されています。プロジェクトコースは、「日本にいながらドイツ留学」というキャッチコピー通り、ほとんどの授業をドイツ語でおこない、ドイツ語を使って課題学習に取り組み、最終的には研究成果をドイツ語でプレゼンできるようになります。リベラルアーツコースは、ドイツ語学科に所属する様々な先生のゼミで多彩な研究テーマに取り組みながら、ドイツ語を使って情報収集し、自らの学びを言語化できるようになります。どちらの道も国際的な教養人になり、グローバルな活躍ができるようになることに通じています。1年生秋学期にコース選択するので、しっかりと自分が何をやりたいのかを考えてみましょう。

## **充実した留学制度**

長期留学には、獨協大学と協定を結んでいるデュースブルク＝エッセン大学、ミュンスター大学、マールブルク大学、ブレーメン専門単科大学、ハレ＝ヴィッテンベルク大学、ハイデルベルク大学、ベルリン自由大学、ヒルデスハイム大学、レーゲンスブルク大学、デュッセルドルフ大学、リューネブルク大学（以上、ドイツ）、バーゼル大学（スイス）へ留学する「交換留学」と、留学したい大学を自分でみつけてくる「認定留学」の2種類があります。留学先の大学で修得した単位は、獨協大学の単位として認められます（条件あり）。交換留学を希望する場合は、平均評定値の基準を満たし、一定のドイツ語能力が求められますが、Zertifikat A2 レベルでも留学できるようになったので、早い人なら2年生から留学が可能になります。1年生のうちからしっかりドイツ語を勉強し、また、将来の研究テーマについてもよく考えておきましょう。なかには、留学中にドイツで就職先をみつけてきたしっかり者の先輩もいます。

## 各種検定試験の受験対策もバッチリ！

ドイツ語の検定試験には、日本国内で行われている「独検（＝ドイツ語技能検定試験）」やゲーテ・インスティトゥートで行われる試験があります。ドイツ語学科のカリキュラムは、第 6 学期終了時（つまり 3 年生を終える頃）に独検準 1 級、あるいはゲーテの試験（Zertifikat B1）に合格できるように組まれています。また、通常の授業以外に、これらの試験のための対策講座も開かれています。それ以外にもネイティブ教員による習熟度別のドイツ語授業など日本最大のドイツ語学科だから受けられる授業が満載です。

## 短期留学やタンテムが単位になる！

大学の授業とは別に、ドイツからの留学生とタンテム学習（日本人が日本語を教えドイツ人がドイツ語を教える学び合い）やハレ=ヴィッテンベルク大学の夏期講習など様々なドイツ語学習の機会があります。こうした学外でのドイツ語学習もドイツ語学科では「学外ドイツ語活動」という 2 単位科目に読み替えることができます。皆さんが積極的にドイツ語を学ぶことを後押しします。

## ドイツにおけるインターンシップ(企業研修)

ドイツ語学科では、ドイツの関連機関と提携して、学科独自のインターンシップ派遣プログラムを実施しており、毎年 10 名程度が参加しています。このプログラムを通してみなさんは、大学在学中にドイツのさまざまな企業でインターンシップを行うことができます。このようなプログラムを、しかもドイツで実施しているのは、獨協大学ドイツ語学科だけでしょう。みなさんの将来にとって、貴重な体験となることは間違いなしです。

## 最後に:自分で少しずつ「ドイツ語にチャレンジ」してみよう

4 月入学までの時間を、ドイツに関連する書籍を読んだり、ドイツ語を少しかじってみたりしながら、自分なりにモチベーションを高めてみてください。「テレビでドイツ語」やラジオ「まいにちドイツ語」を視聴したり、NHK ゴガク「ゴガクル」の HP（<https://gogakuru.com/ge/>）で過去の放送を聞いたりしてみてはどうでしょうか。本も手に入れやすい新書や文庫で十分です。もちろん、本格的な勉強は大学に入ってからでかまいません。それでも、ドイツのことを自分なりに知るようになれば、入学後の勉学の面白さが違ってくると思います。

それでは、4 月にキャンパスでみなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

\* ドイツ語学科公式ツイッター（<https://twitter.com/dokkyodeutsch>）やドイツ語学科オリジナルサイト（<https://dokkyodeutsch.jp>）でも様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

**外国語学部ドイツ語学科一同**